

総評

数学がたいへん難しく、理科も難しめの出題で、5教科合計でみてもやや難しめの出題となりました。

2年生になると、学習内容は一段難しくなり、差がつきやすくなります。内申点では、1・2年生の成績が全体の7分の4を占めるので、今のうちに入試を見すえた具体的な目標を立て、目標に向かって頑張らしましょう。

道コンなどの試験も、範囲が広くなるにつれ、入試に近い出題が増え、教科書内容をひとつお理解しただけでは高得点を得るのが難しくなってきます。基礎・基本の定着はもちろんのこと、今後はより入試に近い実践的な問題に挑戦し、慣れていく必要があります。今回の試験でよい成績だった人も、油断することなく、一層の実力アップにチャレンジしてください。

国語

標準的な出題でした。

㊦は、(6)の得点率が低くなりました。「供える」と「備える」の意味の違いを確認しましょう。㊧は、問一の得点率が低くなりました。文節どうしの関係は、中学1年生で習った内容です。復習しておきましょう。㊨は、問五の得点率が低くなりました。問題文の「引きさがる」という言葉を手がかりにすると、書き抜く部分を見つけやすくなります。㊩は、全体的によくできていました。しかし、文末の表現が整っていない解答が見られました。問題文で問われていることに合った文末で答えるようにしましょう。㊪は、問四の得点率が低くなりました。現代語では使わない古文の表現を用いて答えている解答がありました。古文の表現は、現代語に置きかえて答えるようにしましょう。解答を見直すことも大切です。

数学

①と③の正答率が予想を大きく下回り、たいへん難しい出題となりました。

①は基本問題です。計算問題でつまづいた人は、()の外し方、分数を含む方程式の解き方などを確認しましょう。問4は「整数の集合には含まれるが、自然数の集合には含まれないものを選ぶ」出題でしたが、整数すべてを選んだ解答が目立ちました。②の問2、不等式を苦手とする人が多いようです。式の各項が表す数量に注意して様々な問題に挑戦しましょう。③の問1は方程式の基本です。まちがえた人は解説を読んで再度挑戦しましょう。④は比例・反比例のグラフと図形の融合ですが、方眼などを利用して書いてみると理解しやすいはず。⑤は問2の(1)までは基本問題です。基本的な作図の方法や体積の公式をもう一度確認しましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、海洋や山脈、国名といった基本的な内容はよくできていましたが、②問2、③問3など記述問題の得点率は低くなりました。産業の変化を聞いているのに対して、輸出品の変化しか書いていないなど不十分な解答が多く見られましたので、何を問われているのかをよく読んでから解答を作成するようにしましょう。

歴史分野も基本的な内容はよくできていましたが、⑤問6の記述問題、⑦問7のような年代並べかえ問題で得点率が低くなりました。歴史分野は、基本的な語句を覚えるだけでなく、できごとの前後関係やおおまかな流れをつかむことも大切ですので、年表などを利用して、歴史の流れを確認しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①と②の植物・動物の分類はよくできていました。基本的な内容に関する出題が中心でしたので、間違えたところはしっかりと復習してください。③は問1が特に難しかったようです。表3や図1から液体X～Zが何であるかを推測して思考するなど、思考力・応用力が必要とされる問題でした。④は、問2(1)の計算問題の得点率が低くなりました。計算ということで難しく感じられるかもしれませんが、考え方は難しくありません。演習を重ねて、今のうちに身につけておきましょう。⑤は全体に難しく、得点率が低めになりました。問1や問2は凸レンズに関する基本的な内容です。教科書などをもう一度よく確認してください。一方、問4は実験結果をもとに思考する難しいものでした。

英語

やや易しい出題でした。

①のリスニングは比較的よくできていました。2年生になると単語や文法がこれまでよりも難しくなります。このまま得点できるようにしましょう。

②問4の否定命令文の問題は、英文の途中の穴埋めでしたが、大文字始まりの答案が非常に目立ちました。問7はwentと表現することが難しかったようです。不規則変化動詞は、必ず覚えるようにしましょう。

③は問1の一般動詞過去形の否定文の表現が難しかったようです。間違えた人は必ず復習をしましょう。

④は比較的よくできていました。

単語や文法のミスなど、間違え方は人それぞれだと思います。自分の苦手分野をそのままにせず、2年生の学習が進む前に復習しておきましょう。